

放射線科の紹介

- スタッフ構成は診療放射線技師7名です。平日・休日含む365日体制で検査に対応しています。
- 「安心・安全・安楽」な検査を基本方針として、診療の支援を行っています。
- 画像診断装置

- 一般撮影装置 1台
- ポータブルX線撮影装置 2台
- X線TV透視装置 1台
- マルチスライスCT撮影装置 1台
- MRI装置 1台
- 骨密度測定装置 1台

一般撮影

一般撮影室では、胸部・腹部・骨などの全身のX線撮影を行っています。撮影された画像は、CR(Computed Radiography)装置によりデジタル化され、最適な画像を提供することができます。



一般撮影装置

様々な撮影補助具の使用により、患者様に苦痛を与えない撮影を心がけています。

一般撮影

2台のポータブルX線撮影装置で、撮影室への移動が困難な患者様の病室での撮影に対応しています。



ポータブルX線撮影装置

X線TV検査

X線を照射し透視しながら検査を行います。

DR(Digital Radiography)装置を使用し、透視した画像をデジタル画像処理することにより、アナログで表現できなかった部分が描出でき、微細な部分を確認できます。



X線TV透視装置

X線TV検査

嚥下造影、胃ろう交換などの消化管検査、その他多目的検査に対応しています。



CT検査

CT(Computed Tomography)とは、X線を使用し、各組織のX線吸収差を利用しコンピューターで計算処理して、デジタル画像化する装置です。体を輪切り状(断層)にした画像が得られるので、様々な診断に有効です。

マルチスライスCTは、広範囲の部位の撮影を短時間で行なうことができます。

東芝 マルチスライスCT Alexion
2015. 05月設置



MRI検査

MRI(Magnetic Resonance Imaging 磁気共鳴画像診断装置)検査とは、強力な磁石でできた筒の中に入り、磁気の利用して体の臓器や血管を撮影する検査です。

様々な病巣を発見することができますが、特に脳や脊椎に生じた病変に関して、診断に有用な画像が得られます。

また、色々な病気の早期発見、診断にMRI検査は有効とされています。

GE SIGNA Explorer 1.5T
2016. 02月設置



骨密度測定検査

骨密度検査とは、骨の強度の重要な要因である骨量を測定する検査です。骨粗鬆症とは、骨の強度が低下し、骨折の危険性が高くなる病気です。

当院では、DEXA(デキサ)法を用いた測定を実施しています。



GE PRODIGY Fuga Advance
2016. 05月設置